

平成 29 年度

事業報告書

社会福祉法人 穂波学園

福祉型障害児入所施設 穂波学園

## 福祉型障害児入所施設 穂波学園

平成 29 年度

### 〔事業内容〕

3 歳から 18 歳までの方が対象の施設です。利用者様の一人ひとりの特性に応じた個別支援、また集団生活の中で協調性を養い、将来独立自活に必要な知識・技能が身につく様に支援し、ご利用様が明るく家庭的な雰囲気の中で、健康で幸せな生活が遅れる事を目的としました。未就学児は同法人内の児童発達支援センターまどか園にて、保育士同伴にて地域から通園されている幼児さんとの交流活動を通じ専門保育を一緒に受けています。小中学生は公立校の特別支援学級や特別支援学校に通学しながら、学校と当園の両面で学習しました。中学校卒業後は本人様、保護者様の希望により特別支援学校高等部で学習、または学園内で行っている日中活動等を通し、自立に向けた生活支援・作業支援・社会適応支援の中で知識を身に付けるようにしました。

### 〔在籍者数〕

	H29.4	H30.3
措置者数	58	58
契約者数	6	6
合計	64	64

※単位（人）

### 〔年齢別〕

年齢	3～5 歳	6～11 歳	12～15 歳	16～18 歳	平均
男子	3	12	12	16	12.0
女子	0	8	6	7	12.8
合計	3	20	18	23	12.3

※単位（人）

### 〔程度別〕

程度	最重度	重度	中度	軽度	合計
男子	2	4	4	33	43
女子	2	2	2	15	21
計	4	6	6	48	64

※単位（人）

## 〔在園年数〕

年数	1年未満	1～4年	5～9年	10～15年	平均
男子	5	19	10	9	4.7
女子	1	10	6	1	4.3
計	6	29	16	10	4.6

※単位（人）

## 〔通学状況〕

学校別	小学校						中学校			高等部			合計
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	
幸袋				1	2	1	2	1	1				8
嘉穂特別支援学校	4	3	3	3	1	1	3	3	3				24
直方特別支援学校										4	4	11	19
合計	4	3	3	4	3	2	5	4	4	4	4	11	51

※単位（人）

幸袋小学校	4名
幸袋中学校	4名
嘉穂特別支援学校	24名
直方特別支援学校	19名

## 〔地区別〕

相談所	田川	福岡	宗像	久留米	福岡市	北九州市	県外	合計
男子	17	3	4	6	8	3	2	43
女子	3	5	6	4	2	1	0	21
合計	20	8	10	10	10	4	2	64

※単位（人）

## 〔月別利用者数と入退所の状況〕

## ◎月別利用者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
措置	男子	40	41	41	42	42	42	42	41	42	42	42	43
	女子	18	20	20	21	21	21	20	20	20	20	19	18
契約	男子	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4
	女子	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
合計		64	67	67	69	69	69	68	68	69	69	68	68

※単位（人）

◎退所の状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男子							1				1	6	8
女子						1				1	1		3
合計						1	1			1	2	6	11

※単位（人）

◎入所の状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男子		1		1			1	1		1		1	6
学年		小3		幼児			小2	幼児		幼児		小4	
女子		2		1									3
学年		小5 中2		小5									
合計		3		2			1	1		1		1	9

※単位（人）

〔年間利用児人数〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	64	67	67	69	69	69	68	68	69	69	68	68	815
利用日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延べ人数	1919	2077	2010	2139	2156	2070	2140	2040	2133	2129	1904	2108	24825

〔短期入所延べ人数〕

H29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	4	4	6	5	9	4	4	4	4	6	4	2

※単位（人）

〔日中一時支援事業延べ人数〕

H29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	50	46	32	53	64	39	32	28	31	29	23	55

※単位（人）

〔職員の配置状況〕

職種	現員	配置基準
施設長	1	1
児童発達支援管理者	1	1
嘱託医	(2)	(2)
児童指導員	11	19
保育士	7	
職業指導員	1	1
介助員	1	1
指導員	2	
看護師	1	
管理栄養士	1	
栄養士	1	1
調理員	4	4
事務員	1	1
計	32	29

〔実習受け入れ〕

福岡県内の大学・短大・専門学校の7校より40名の学生が実習に入られました。また、福岡県介護等体験に3校より3名の学生・田川児童相談所に実習に入っている学生の施設体験に5名の学生が来られ、今年度は高校より就学体験として1名の学生が入られています。

〔行事〕 ※ 毎月：誕生会

- 4月 開園記念式典・カラオケ大会・入学式（特別支援学校小学部4名・中学部2名・高等部4名・幸袋中学校2名）
- 5月 こいのぼり見学・野菜苗植え・体育会（幸袋中学校）・歓迎遠足（各学校）・修学旅行（幸袋小学校）
- 7月 プール外出・映画・買い物外出・バイキング
- 8月 飯塚納涼花火大会・プール外出・野菜収穫  
筑豊京築地区児童福祉施設ボウリング大会（他児童施設との交流～中高生）  
夏休み園内キャンプ
- 9月 手作り食事会（各寮別誕生会）・運動会（幸袋小学校）
- 10月 体育大会 保護者参加・文化祭（幸袋中学校）・運動会（特別支援学校高等部）  
学習発表会（特別支援学校小中学部）  
筑豊京築地区児童福祉ボウリング大会(他児童施設との交流～小学生)
- 11月 大相撲前夜祭招待・家族旅行 霧島方面（日中活動参加）・修学旅行（各学校）

12月 マラソン記録会・餅つき大会・買い物外出・誕生会・学園コンパ(クリスマス会)  
修学旅行(幸袋中学校)

1月 初詣・かくし芸大会・紅白歌合戦

2月 節分豆まき

3月 お楽しみ外出(スタンプラリー)・バイキング・卒業式(特別支援学校小学部1名・  
中学部3名・高等部10名・幸袋小学校1名・幸袋中学校1名)  
プロ野球観戦(ヤフオクドーム)・花見遠足 保護者参加

※学校行事の運動会・体育会・遠足には管理栄養士と栄養士にて手作りお弁当を作り持って  
行っています。

### 〔余暇活動〕

毎月の利用者会議の中で余暇の過ごし方を全員に尋ね、翌月の余暇活動に出来るだけ取り入れるようにしています。毎週の連休にはエアロビクス・縄跳び・ランニング・ボール遊びなどの運動や遊びを取り入れ、行事前にはカレンダー作り・鬼の面づくりや誕生会の飾り物・ひな人形・プラパンでキーホルダーやアクセサリ作り、広告紙を細く丸め編んでコースターなどを作りました。調理実習・製作などと合わせて公文学習や SST (ソーシャルスキルトレーニング) カードを使つての学習も取り入れました。

#### (春休み)

花壇や畑の手入れを行い発芽や成長を楽しみに、草取りをしたり水をやったりしながら観察をし絵日記を描いています。夏には収穫しサラダや漬物を作り野菜が苦手な利用者様も「おいしいね」と言われ食べられていました。調理実習では直接食材に触れグループで協力して、おにぎり・焼きそば、フルーツパフェ・クレープなどに挑戦し、みんなで食べる楽しさを体験して頂きました。ゴールデンウィークには鯉のぼり作りをし寮内に飾り、また実際に河川敷の鯉のぼり見学にドライブに行き、柏餅作りも行いみんなでおいしく食べました。

#### (夏休み)

学校からの宿題や個別支援の課題を行った後は水風船や水鉄砲での水遊びやバスケットボール・バレーボールなどのボール遊び・フラフープで体を動かしています。かき氷を作ったり暑中見舞いを書いたり、カラオケ・フリスビーや紙相撲作りを行い遊んでいます。夏休みの大イベントでもある園内キャンプはみなさん楽しみにされ昼食に焼き肉店に全員で行き、夜は穂波広場で夜店としてお菓子釣りとくじ引き・輪投げ・ガムの型抜き・金魚すくいと昨年より会場を増やし、自分で作られたカードにスタンプを押しながら回り大スクリーンの映写会も大好評でした。

(冬休み)

すごろくや福笑い・門松作りなどのお正月準備をしたり、お正月には近くの神社に初詣に行ったり、自分たちで作ったお正月遊びで楽しみました。凧揚げ・書初めやホットケーキ作りなどもしました。

[クラブ活動]

☆バレーボールクラブ

☆陸上クラブ

☆太鼓クラブ

☆エアロビクス

現在 4 つのクラブ活動を行っています。バレーボールクラブ・陸上クラブは福岡県や九州の大会出場はもとより、全国大会を目標に日々の練習に取り組んでいます。クラブ活動を通じてスポーツに親しむ習慣や持久力を養い体力の向上を目的としています。太鼓クラブは地域イベント等の依頼を受け、出向いて演奏を行っています。日々の練習の中で仲間意識を持ち、お互いに競い合い、助け合いながら向上しあい、地域の方々との交流を大切にしていける事を目的としています。またエアロビクスに於いては毎週インストラクターに来ていただき、体育館を利用して行っています。音楽やダンスが好きな方が多く、リズムに乗って楽しみました。

(大会・結果)

6月	バレーボール・第 17 回全国障害者スポーツ大会バレーボール競技九州ブロック地区予選会 福岡県代表チーム穂波学園 優勝
8月	陸上・日本 ID 陸上競技選手権大会 女子 4×400R 銀メダル
11月	バレーボール・第 17 回全国障害者スポーツ大会 2017 愛顔つなぐえひめ大会 知的女子バレーボール競技出場 九州ブロック代表福岡県穂波学園連合 7位
3月	バレーボール・第 20 回下関市知的障害者親善バレーボール大会出場 4位

## 〔健康管理〕

心身ともに明るく健康に過ごしていただけるように食事・運動・清潔・疾患の早期発見・早期治療に取り組み、検診での指摘にはすぐに対応しています。

### 通院状況（年間延べ人数）

（診療科）	（実人数）	（述べ人数）
小児科	53	314
外科	15	40
歯科	25	103
皮膚科	31	88
精神科	12	111
眼科	34	57
耳鼻科	32	64
肛門科	1	13
整形外科	10	26
泌尿器科	4	34
婦人科	1	2

入所当初は、食が細く好き嫌いも目立つ利用者様がおられました。規則正しい生活を送る中で、栄養バランスの良い食事を残さず食べる事が出来る様になると身体も強くなり、ある利用者様は喘息症状も軽くなって、毎日行わなければならなかった吸入の処置の必要性がなくなり良い結果も出ております。冬季にはインフルエンザに4名の方が罹患されましたが、蔓延する事なく、嘱託医より集団生活をしている中で蔓延をしないというのは、予防が徹底している証拠であるとお褒めの言葉もいただいています。

<健康診断>胸部レントゲン・心電図・視力・血圧・聴力・内科・歯科・眼科・耳鼻科の検診を実施しました。（就学児童は学校検診を含む）

<予防接種>インフルエンザの予防接種を11月16日に全員接種し、12月8日小学校6年生以下は2回接種しています。そのほかの予防接種は適宜行っています。

<身体測定>体重・血圧測定を毎月行い、体重の増減や血圧の変化がないかを確認し健康管理に役立てています。



### 〔献立委員会〕

4月に嗜好調査を行い好きな食べ物苦手な食べ物の調査をすると共に毎月希望メニューの調査も行い翌月の献立に反映しています。

毎月行われる誕生会では飲み物の希望を聞いて、一人一人の好みに応じた物を準備しました。今年度は8月にインド、ネパール料理、3月は色々な丼物をテーマとした、バイキングでの誕生会を行いました。「初めて食べた」「おいしい」等の声も聞かれ笑顔で食事を楽しまれていました。

### 〔苦情解決委員会〕

体制は第三者委員会と各寮リーダーです。苦情 要望件数は1件も発生しておりませんでした。

### 〔虐待防止委員会〕

虐待防止委員会を年に3回（4月、8月、12月）行いました。協議事項が別に発生した場合にはその都度会議を開く様にしていますが、今年度においては有りませんでした。

4月には利用者様に対しての虐待の予兆や発生に対する気づきを高めるための「早期虐待発見チェックリスト」の記入を行い、4月に当法人施設長による新人職員を対象とした「虐待防止研修会」、7月15日には第三者委員である紫牟田氏より虐待に関する法人内研修を行って頂き学習すると共に、再確認をしています。

3月は職員を対象に無記名にて「虐待防止職員セルフチェックリスト」の記入を行いました。「緊急時には大きな声を出してしまった」1名、「つい〇〇さんではなくあだ名で呼んでしまったことがある」2名の記入が有りました。内容の再確認を行い、意識を高めると共に今後は上記のような項目が無くなる様に会議にて話し合いを行っています。

### 〔安全衛生委員会〕

毎月開催、安全衛生管理年間計画の作成、実施、評価及び改善を行い精神的健康の保持増進対策、避難訓練、自然災害及び防犯の対応と対策、快適な生活環境、職場環境の形成を促進する為の会議を行いました。

環境美化整備コンクールを今年は4月21日に行いました。利用者様と支援員が共に生活の場を心地よく過ごせるように皆で掃除等を行い、活動場や生活棟の巡回をし、良いところ

悪いところ等の評価を行い、改善を行っています。

安全対策としては火災、地震、水害、土砂災害、防犯等を想定した避難訓練を実施しました。

今年度は平成 29 年 9 月 27 日に防犯の意識を高める為に不審人物の侵入想定訓練を行いました。9 月 4 日～7 日にかけて飯塚消防署の方に来ていただき、全支援員が救命講習を受け、心臓マッサージの重要性、AED の使用方法等、基本的な救命措置を学びました。

(年間避難訓練)

H29. 4.27	笠置寮浴室出火想定・消火訓練
5.26	穂波 1 寮夜勤室出火想定
6.22	笠置 3 寮玄関出火想定
7.25	まどか園教材室出火想定
8.23	第 1 作業場トイレ附近出火想定
9.14	土砂災害対応訓練、その後給食センター厨房より出火想定
9.27	不審者侵入想定
10.25	書庫出火想定
11.27	穂波 2 寮夜勤室出火想定
12.27	まどか園訓練室出火想定
H30. 1. 8	自立寮ホール付近出火想定
2.22	穂波 1 寮夜勤室火想定
3.24	土砂災害避難訓練 (11 月 1 日改正 危険区域及び避難経路の確認)
3.26	給食センター厨房附近出火想定

[平成 29 年度職員研修]

(全国大会関係)

- ◇ 全国知的障害福祉関係施設長会
- ◇ 全国知的障害福祉関係職員研修大会
- ◇ 障害者支援施設部会全国大会

(九州大会関係)

- ◇ 九州社会福祉経営会セミナー
- ◇ 九州地区知的障害者関係施設職員研修大会
- ◇ 九州地区知的障害者関係施設長研修大会
- ◇ 九州地区障害者福祉協会児童発達支援部会
- ◇ 平成 29 年度九州地区知的障害者福祉協会障害者支援施設部会研究会

(福岡県県内研修)

- ◇ 発達知的障がい者支援職員対象 SST ファーストレベル研修会
- ◇ 精神保健福祉夏期講座・冬季講座
- ◇ 発達障がい児・知的障がい児 SST 導入実践のための研修会
- ◇ 九州地区障害福祉協会児童発達支援部会
- ◇ 筑豊京築地区児童福祉施設職員研修
- ◇ 児童虐待防止研修会
- ◇ 社会福祉施設役職員研修会
- ◇ 社会福祉法人経営セミナー
- ◇ 平成 29 年度食中毒予防講習会
- ◇ 労務管理研修
- ◇ 地域公益活動連携協議会 記念講演
- ◇ 社会福祉法人改革対応セミナー
- ◇ キャリアパス対応生涯研修課程
- ◇ 筑豊地区施設長・職員研修会
- ◇ 大規模災害対応セミナー
- ◇ 改正社会福祉法セミナー
- ◇ 社会福祉法人改革に伴う会計・財務セミナー
- ◇ 触法障がい者支援を考える
- ◇ 平成 29 年度管内栄養士（新任者）研修
- ◇ 社会福祉サービス事業所 直接処遇職員研修
- ◇ 福岡県知的障がい者福祉協会研修会
- ◇ 福岡県知的障がい者福祉協会福岡地区施設長会
- ◇ 福岡県児童発達支援管理者研修
- ◇ 平成 29 年度相談支援従事者初任者研修新任職員研修会
- ◇ ふくおかライフレスキュー事業フォローアップ研修
- ◇ ふくおかライフレスキュー事業サポーター養成研修
- ◇ 福祉サービス苦情解決従事者研究会
- ◇ 人権擁護・意思決定研修
- ◇ 第 1 回筑豊地区施設長・職員研修会
- ◇ 筑豊地区施設長・職員研修会
- ◇ 平成 29 年度九州地区社会福祉経営会スキルアップ研修
- ◇ 福祉サービス苦情解決従事者研修

(児童相談所関連)

- ◇ 筑豊京築地区児童福祉施設職員研修会
- ◇ 筑豊京築地区児童福祉虐待防止研修会

- ◇ 筑豊京築地区児童福祉企画委員会議
- ◇ 筑豊京築地区児童福祉施設長会（8月を除く毎月）
- ◇ 筑豊京築地区施設長研修会・事務・給食研修会

（法人施設内研修）

- ◇ 新任職員・考課者研修（スキルアップ研修）
- ◇ 虐待防止に関する勉強会
- ◇ キャリアパス対応生涯研修（フォローアップ研修）
- ◇ 法人内階層別キャリアパス研修
- ◇ 園内職員虐待防止研修

〔地域との関わり〕

園内外に関わらず、出会った人には大きな声で挨拶をしています。敬老の日やクリスマスには、地域の方々に心ばかりのプレゼントを子供達から手渡し、お互いに元気に過ごしている事を確かめ合いました。

家族や地域の方との交流等の機会を確保する為に、花見遠足・体育大会・マラソン記録会・餅つき・立ち食いうどんの行事を行いました。



飯塚納涼花火大会



映画外出



園内キャンプ



園内キャンプ



誕生日会 (バイキング)



体育大会



ウォークラリー



花見遠足



マラソン記録会



餅つき大会